

●ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **⚠ 警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **⚠ 注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いすれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけ
ない「禁止」の内容です

この絵表示は、「分解禁止」の内容です

この絵表示は、「接触禁止」の内容です

この絵表示は、必ず実行して
いただく「強制」の内容です

やけど、漏水をした場合の処置
やけど やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を開けてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

⚠ 警告 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 禁止 85℃以上はダメ 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。 禁止 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	小さいお子様だけの使用は避けてください。 禁止 やけど・けがをするおそれがあります。
分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。 分解禁止 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	器具の左側は給湯側のため高温になっています。器具（金属）の表面に直接肌を触れないでください。 接触禁止 やけどをするおそれがあります。	キャビネット内の湯側配管は高温になっていますので直接肌を触れないでください。 接触禁止 やけどをするおそれがあります。
湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。 強制 確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	湯をお使いになるときは、必ずレバーを水側にしてから開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、お好みの温度に調節してください。 強制 湯側を先に開栓すると、高温の湯が吐水して、やけどをするおそれがあります。	レバーハンドルの位置で湯温を確かめた後、吐水してください。 強制 位置を確かめて 確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

⚠ 警告

高温の湯をお使いの後は、必ずレバーを水側に、しばらく水を流してから止水してください。

禁止

水を流さないと次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

お湯を使用した後で次に使用する時、若干温度変化する場合がありますので、しばらく吐水させて湯温が安定してからお使いください。

禁止

湯温が安定してから

しばらく吐水させないと、やけどをするおそれがあります。

寒冷地仕様の場合

水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。

禁止

水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

配管などの解水のため解水機をご使用の場合、水栓（給水・給湯管含む）には絶対に通電しないでください。

禁止

通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意 器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。 禁止 器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	シャワースタンドの開口部へ直接湯水をかけないでください。 禁止 漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	めっき部品は、ぶつたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。 禁止 めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。
レバーハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。 強制 ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。 強制 水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。
水栓の品番をご確認ください
水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。（シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください）
修理料金は技術料＋部品代＋出張料で構成されています
技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
部品代…修理に使用した部品代
出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

KVK修理受付センター TEL ☎0120-474-161
上記フリーダイヤルは携帯電話からはご利用になれません。携帯電話からは **058-234-8946** をご利用ください。
受付時間／平日 9:00～18:30 土・日・祝日 9:00～17:00

株式会社 KVK
本社・工場／〒501-1195岐阜市黒野308/TEL058-239-3111 代表
インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

2 ページ

ご使用の前に / ご使用方法

⚠ 給湯機の使用上のご注意

- ・給湯機の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ・レバーハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。（瞬間型の場合）
- ・レバーハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。（それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合はレバーハンドルで調節を行ってください）
- ・給水圧力が低い時や水温が高い時は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度を少し下げてください。（瞬間型の場合）

各部の名称

温度、出し止め、量の調節方法

レバーハンドルを右へ回すとぬるくなり、左へ回すと熱くなります。
レバーハンドルを上げると吐水、下いっぱいまで下げると止水します。上へ上げるほど流量が増します。

- 【⚠ 警告】湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- 【⚠ 注意】レバーハンドルは無理な力を加えずゆっくり操作してください。急な操作や無理な力での操作はウォーターハンマー（水撃）音が発生するおそれがあります。

3 ページ

吐水の切換方法

吐水切換レバーを左に回すとストレート吐水、右に回すとシャワーになります。
【お願い】切換操作は無理な力を加えずゆっくり操作してください。

シャワーヘッドの使用方法

シャワーヘッドは引き出して使えます。使用後はシャワーフェイスが下向きになるようにはめ込んでください。
シャワーヘッドは左右に約15度ずつ回転します。

- 【⚠ 注意】シャワーヘッドを引き出しすぎないでください。ホースが戻しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【⚠ 注意】シャワースタンドの開口部へ直接湯水をかけないでください。漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【⚠ 注意】シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。水が逆流するおそれがあります。

4 ページ

【△ 注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。
怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

①	1. 家屋の元栓を締めます。 2. 家屋側の配管に水抜き栓がある場合は、水抜き作業を行ってください。
②	湯水の止水栓の止水弁(2ヶ所)を締めます。
③	シャワーヘッドを洗面ボウルに下ろします。
④	レバーハンドルを真ん中の位置で吐水状態にします。
⑤	水抜きユニットの水抜き栓(1ヵ所)と、湯水の止水栓の水抜き栓(2ヵ所)を開けて、シャワーヘッドを振って中の水を抜きます。

シャワーヘッド

レバーハンドル

③ 洗面ボウル振るに下ろす

⑤-2 吐水状態

湯側水抜き栓付止水栓（別売）

止水栓の水抜き栓

② しめる

⑤-1 あける

水抜きユニットの水抜き栓

給水・給湯管

水側水抜き栓付止水栓（別売）

止水栓の水抜き栓

⑤-1 あける

【お願い】必ず水抜き栓がしまっていることを確認して、レバーハンドルを下げて(止水状態)から通水してください。
通水を再開しても水が出ない場合……レバーハンドルを上げて(吐水状態)、しばらくお待ちください。
これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。
異常ではありません。

【⚠ 警告】解水機をご使用の場合、水栓（給水・給湯管含む）には絶対に通電しないでください。
通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ガタツキがないか確認

現 象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ及び項目
吐水量が 少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がつまっていますか	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	6ページ 「泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナの清掃方法」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナは凍っていませんか	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか 出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
低温しか 出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
温度調節が うまく できない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
吐水が 飛び散る	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がつまっていますか	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	6ページ 「泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナの清掃方法」
	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がつまっていますか	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	6ページ 「泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナの清掃方法」